

最近の蚕糸・絹業の情勢と生糸の消費拡大について

蚕糸砂糖価格安定事業団 理事 中 村 甲 子 男

1. 蚕 糸 絹 業 の 現 状

- (1) 国内経済の停滞，生活様式の変化等により，こゝ数年来内需は大巾に減少し，事業団に大量の在庫が累積する事態となった。
- (2) この様な厳しい状況に対処して，一昨年より需給の改善を図るため，価格対策（基準糸価の引下げ），輸入調整策，生産対策，需要増進対策（安定法の一部改正）等，諸般の対策を講じてきた。
- (3) この様な施策から，昨年度前半は内需の好調，糸価の回復，事業団在庫の減少等，やゝ明るいきざしが見えはじめた。
- (4) しかしながら，昨年秋以降再び内需が減退し始め，特に最近に至り益々厳しい状況となり，先物は中間買入価格を大巾に割り込み，事業団持込みが連日行われ，深刻な事態となってきた。
- (5) その背景は
 - a. 5月下旬国会での大臣発言。
 - b. 巷間に伝えられる安定制度に対する不安感。
 - c. 輸入小巾織物の急増と産地への圧迫。
 - d. 先行不安感から商社，問屋，機業者の在庫糸の圧縮及び織物の荷動きの悪化。
- (6) 絹の需給（表1）

表 1 絹 の 需 給

（単位：俵）

項目 曆年	給 供							
	計	初 在 庫	生 産	輸 入				
				計	生 糸	絹 糸	織 物	二次製品
53	753,690	276,960	265,959	210,771	83,833	40,273	64,392	22,273
54	732,591	274,539	265,829	192,223	60,467	34,464	67,112	30,180
55	730,276	303,211	269,247	157,818	49,598	30,565	56,421	21,234
56	681,105	325,237	247,012	108,856	15,254	20,512	54,276	18,814
57	674,103	329,548	216,542	128,013	38,252	14,080	54,350	21,331
57/56(%)	99.0	101.3	87.7	117.6	250.8	68.6	100.1	113.4

項目 曆年	需 要							末 在 庫
	計	輸 出					内 需	
		計	生 糸	絹 糸	織 物	二次製品		
53	479,151	14,378	—	469	11,835	2,074	464,773	274,539
54	429,380	15,712	—	1,196	12,388	2,128	413,668	303,211
55	405,039	15,563	—	872	11,470	3,221	389,476	325,237
56	351,557	19,258	—	424	15,410	3,424	332,299	329,548
57	367,092	21,953	—	323	18,097	3,533	345,139	307,011
57/56(%)	104.4	114.0	—	76.2	117.4	103.2	103.9	93.2

2. 繭生産の動向

- (1) 戸数、桑園面積、繭生産量ともに一貫して減少している。
- (2) 56年から生産者団体による自主的な計画生産が行われている。

表 2 繭 生 産 の 動 向

項目 暦年	養蚕農家数		桑園面積		収 繭 量		1 戸 当 たり 桑 園 面 積		10a 当 たり 収 繭 量	
	戸 数	45 年 対 比	面 積	45 年 対 比	収繭量	45 年 対 比	面 積	45 年 対 比	収繭量	45 年 対 比
	千戸	%	千ha	%	千t	%	a	%	kg	%
45	399	100	163	100	112	100	41	100	68.5	100
50	248	62	151	93	91	81	61	149	60.6	88
51	225	56	143	88	88	79	64	156	61.3	89
52	203	51	136	83	79	71	67	163	58.3	85
53	187	47	130	80	78	70	69	168	59.9	87
54	176	44	125	77	81	72	71	173	64.9	95
55	166	42	121	74	73	65	73	178	60.3	88
56	150	38	117	72	65	58	78	190	55.3	81
57	139	35	113	69	63	56	81	198	56.0	82

3. 生糸生産の動向

- (1) 生糸生産は逐年減少し、製糸工場数もこれに伴って減少している。
- (2) 生産設備は依然過剰基調にあり、製糸団体は時局打開のため57年4～6月及び58年4～6月に設備の封印カルテル（25％）を実施した。
- (3) なお、4月下旬製糸団体は、いよいよ設備共同廃棄を実施することを決議し、構造改善事業協同組合を設立、当局に認可申請して具体的処理の検討に入った。

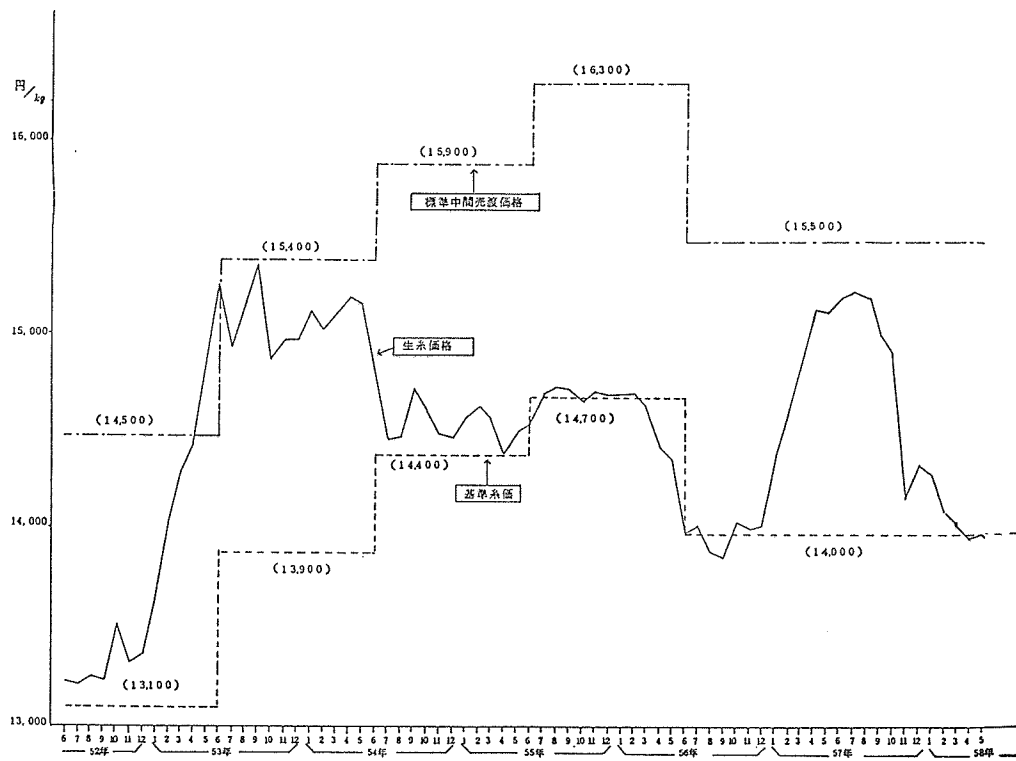
表 3 生糸生産量と製糸工場の動向

項目 暦年	生糸生産量	製糸工場数（うち器械製糸工場数）
	千俵	
5 0	3 3 6	4 2 9 (1 2 3)
5 1	2 9 8	3 9 0 (1 1 6)
5 2	2 6 8	3 5 0 (1 1 1)
5 3	2 6 6	3 4 1 (1 0 8)
5 4	2 6 6	3 1 8 (1 0 7)
5 5	2 6 9	3 0 4 (1 0 5)
5 6	2 4 7	2 7 1 (9 2)
5 7	2 1 7	2 5 4 (8 5)

4. 生糸価格の推移

- (1) 絹需要の減少，事業団在庫の増大等から糸価は長期にわたり低迷していたが，各般にわたっての改善対策により昨年当初以降糸価は上昇し安定帯の幅の中で比較的高値で推移した。
- (2) しかし昨年11月以降，需要の減退，供給過剰，制度の不安感等々から糸価は急速に下落し，基準糸価を下廻る最悪の事態に直面している。

図 1 生糸価格の推移（横浜現物標準値）



5. 安定帯価格の推移

- (1) 基準糸価は「生糸の生産条件及び需給事情その他の経済事情からみて，適正と認められる水準に生糸価格を安定させることを旨として」決定することとされている。
- (2) 50年から55年までは毎年引上げられたが，56年は700円/kg 引下げるとともに，57，58年は据え置かれた。

表 4 安 定 帯 価 格 の 推 移

(kg当たり円)

生糸年度 区 分	50	51	52	53	54	55	56	57	58
安 定 上 位 価 格	12,900	13,900	15,900	16,800	17,400	17,800	17,800	17,800	17,800
標準中間売渡価格	12,100	13,100	14,500	15,400	15,900	16,300	15,500	15,500	15,500
生 糸 生 産 費	11,216	12,116	13,824	14,647	15,163	15,499	15,513	15,527	15,527
基 準 糸 価	11,200	12,100	13,100	13,900	14,400	14,700	14,000	14,000	14,000
基 準 繭 価	1,603	1,756	1,915	2,036	2,112	2,153	2,050	2,050	2,050
中 間 買 入 価 格	11,100	12,000	13,000	13,800	14,300	14,600	13,900	13,900	13,900
安 定 下 位 価 格	9,600	10,300	11,800	12,500	12,900	13,200	13,200	13,200	13,200
最 低 繭 価	1,373	1,497	1,724	1,831	1,891	1,933	1,933	1,933	1,933
基準糸価の50 生糸年度対比	100	108	117	124	129	131	125	125	125

6. 事業団の買入れ、売渡し及び在庫状況

(单位: 亿)

(注) 1. ②欄の()内は「売渡」で内数である。
2. ⑩⑪⑫欄の()内は、「買換国産糸」で内数である。

(参考) 先渡し分のうち、未輸入数量(0)＝先渡し合計(27,940)－先渡し分のうち輸入済(27,940)

7. 絹 業 関 係

表 6 産 地 別， 生 糸 消 費 高

(単位：俵)

産 地 名	5 1 年	5 2 年	5 3 年	5 4 年	5 5 年	5 6 年	5 7 年
米 沢	7,167	6,688	6,345	5,531	5,426	6,080	6,546
伊 勢 崎	1,107	1,449	1,425	1,686	1,493	1,456	1,385
桐 生 (輸 出)	811	894	857	902	1,051	1,156	1,205
群 馬 生 絹	6,168	6,506	6,669	5,760	5,373	5,380	5,319
秩 父	1,488	1,391	1,237	993	881	522	481
埼 玉	8,664	8,625	8,455	7,269	6,857	6,051	5,860
八 王 子	6,507	5,417	4,529	4,222	4,102	3,657	3,390
村 山	1,810	1,666	1,971	1,956	1,993	1,763	1,438
山 梨	2,747	2,425	2,575	2,722	3,711	3,875	4,515
長 野 県	1,254	751	422	567	502	500	469
十 日 町	15,627	13,057	10,212	9,743	7,805	6,233	4,977
五 泉	16,564	16,256	16,418	17,176	15,161	12,340	11,680
塩 沢	472	458	468	436	413	339	310
加 茂	6,987	4,012	3,979	4,061	3,329	2,824	2,854
城 端	3,360	2,411	2,445	2,454	1,945	1,875	2,065
金 沢	3,853	2,955	3,328	4,618	4,694	4,360	3,574
小 松	15,788	23,804	24,154	20,423	17,549	18,197	17,512
加 賀	3,569	3,872	3,334	3,184	2,803	2,344	2,104
根 上	4,477	5,500	5,463	5,593	5,476	4,563	4,268
福 井	24,238	23,782	24,823	22,966	19,542	21,064	22,659
春 江	16,773	17,025	17,271	16,799	13,390	12,503	12,378
前 宮	2,342	2,718	2,601	2,059	975	974	910
中 屋	1,822	1,772	1,955	1,951	1,230	944	1,026
浜 縮 緬 (長 浜)	19,755	17,935	20,567	21,674	22,162	19,126	18,848
西 陣	73,832	74,709	63,454	57,835	54,640	54,049	49,773
丹 後	112,007	100,538	110,495	111,646	107,932	92,752	93,423
兵 庫 県 (但 馬)	9,806	8,656	8,415	6,821	5,329	5,496	6,041
博 多	17,556	13,092	12,275	8,845	7,848	7,518	6,829
鹿 児 島	6,469	5,511	5,102	4,892	4,890	4,552	3,898
奄 美 大 島	2,792	2,819	2,636	2,793	2,541	2,662	2,627
そ の 他 (縫糸を含む)	30,255	29,028	26,815	24,658	21,021	21,333	21,303
総 計	436,067	405,722	400,695	382,235	352,064	326,488	319,667

資料：蚕糸砂糖類価格安定事業団「全国絹織物産地実態調査」

表7 用途別生糸・玉糸消費高

区分	暦年	51年		52年		53年		54年		55年		56年		57年	
		実数	比率 %	実数	比率 %	実数	比率 %	実数	比率 %	実数	比率 %	実数	比率 %	実数	比率 %
輪 絹 用		7,277	1.7	7,998	2.0	9,850	2.5	10,465	2.7	8,490	2.4	9,587	2.9	9,232	2.9
白 生 地		265,102	60.8	238,569	58.8	246,750	61.6	236,522	61.9	218,554	62.1	195,781	60.0	195,076	61.0
先 染 着 尺		46,719	10.7	44,843	11.0	38,941	9.7	36,275	9.5	32,229	9.2	31,293	9.6	28,369	8.9
帯 地		70,889	16.3	68,446	16.9	58,536	14.6	53,188	13.9	51,202	14.5	50,033	15.3	46,808	14.6
和 装 小 物		4,055	0.9	7,688	1.9	7,710	1.9	8,151	2.1	7,036	2.0	6,606	2.0	7,119	2.2
夜具・丹前・座ぶとん		3,283	0.8	1,623	0.4	1,649	0.4	1,816	0.5	1,347	0.4	1,527	0.5	1,424	0.5
内 需 洋 装 品		11,896	2.7	10,806	2.7	12,952	3.2	13,001	3.4	11,798	3.4	13,276	4.1	14,113	4.4
洋 品 雑 貨		14,491	3.3	13,409	3.3	12,881	3.2	11,674	3.0	12,306	3.5	10,204	3.1	9,584	3.0
室 内 装 飾		2,877	0.7	3,337	0.8	2,882	0.7	2,911	0.8	2,678	0.8	2,310	0.7	2,523	0.8
工 業 用		155	0.0	275	0.1	325	0.1	318	0.1	266	0.1	175	0.1	264	0.1
縫 糸 用		9,323	2.1	8,728	1.1	8,220	2.1	7,914	2.1	6,158	1.7	5,696	1.7	5,155	1.6
合 計		436,067	100.0	405,722	100.0	400,695	100.0	382,235	100.0	352,064	100.0	326,488	100.0	319,667	100.0

資料：蚕糸砂糖類価格安定事業団「全国絹織物産地実態調査」

表8 全国絹織物産地の生糸類消費数量の推移

(単位：俵)

年 度	生 糸	絹紡糸・絹紡純糸			計	前 年 比 数
		前 年 比 数	野蚕糸・柞紡糸	前 年 比 数		
昭和47年	478,532	114.2	24,441	124.8	502,973	114.7
48年	468,931	98.0	30,383	124.3	499,314	99.3
49年	398,961	85.1	36,453	120.0	435,414	87.2
50年	434,636	108.9	49,439	135.6	484,075	111.2
51年	426,744	98.2	48,802	98.7	475,546	98.2
52年	396,994	93.0	44,190	90.5	441,184	92.8
53年	392,475	98.9	42,112	95.3	434,587	98.5
54年	374,321	95.4	41,454	98.4	415,775	95.7
55年	345,906	92.4	40,104	96.7	386,010	92.8
56年	320,792	92.7	39,252	97.9	360,044	93.3
57年	314,512	98	37,396	95.3	351,908	97.7

(縫糸含まず)

表9 全国絹産地のきもの正絹表地生産数量

(単位：千反)

年 度	白 生 地		先 染 着 尺		計	
	数 量	対前年比 指 数	数 量	対前年比 指 数	数 量	対前年比 指 数
昭和47年	17,519	107.4	4,978	107.2	22,497	107.3
48年	18,509	105.7	4,636	93.1	23,145	102.9
49年	14,440	78.0	4,544	98.0	18,984	82.0
50年	13,680	94.7	5,435	119.6	19,115	100.7
51年	13,265	97.0	5,013	92.2	18,278	95.6
52年	11,462	86.4	4,330	86.4	15,792	86.4
53年	12,370	107.9	3,957	91.4	16,327	103.4
54年	11,856	95.8	3,931	99.3	15,787	96.7
55年	11,136	93.9	3,569	90.8	14,705	93.1
56年	9,470	85.0	3,404	95.4	12,874	87.5
57年	9,195	97.1	3,015	88.6	12,210	94.8

8. 消費拡大対策

今後の我が国蚕糸絹業の健全な発展を図るためには、各般にわたる需要増進対策の推進が必要であり、各業界が利害関係を超えて消費拡大への途を講ずることである。

- (1) 繭糸価格安定法の一部改正による新規用途または販路向け売渡しの一層の推進。

	契 約 数 量 (俵)
第 1 回 (57年11月)	5 1 8
第 2 回 (58年2月)	1, 1 5 3
第 3 回 (58年5月)	2, 4 6 9

- (2) ジャパン・シルクセンターの設置による絹宣伝事業の強化。
- (3) 蚕糸絹業界による絹呉服の宣伝事業の推進。
- (4) 洋装分野への進出と拡大。
- (5) 消費者のニーズに応えるために生糸の糸質、品質、織物と一貫した製品の向上対策（特に国産生糸と中国生糸との競合対策）。
- (6) 着装方式の改善による消費拡大の研究と検討。
- (7) 海外における需要開拓のための宣伝と対策。
- (8) 各流通段階での合理化。